

# 成果報告書

## 地域部活動推進事業

担当部署	石川県教育委員会学校指導課・金沢市教育委員会学校指導課		
所在地	石川県金沢市	運営形態	市町村運営型
運営主体	金沢市		
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の働き方改革による労働時間の削減を推進しながら、部活動における文化的活動の充実を図ること。</li> <li>・生徒や保護者が求める質の高い文化的活動環境を維持するための人材確保が難しいこと。</li> <li>・年度当初や顧問変更等の際に、部活動の体制支援を円滑に移行すること。</li> </ul>		
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 休日を含む地域部活動への移行を見通した生徒の指導や大会の引率を行う地域人材の確保と連携</li> <li>② 平日の学校部活動との連携・協力体制の構築</li> </ul>		
団体・組織等の連携	<div style="text-align: center;"> <h3>地域部活動推進事業</h3> </div>		
拠点校等	金沢市立野田中学校		
活動場所	金沢市立野田中学校、外部での活動場所		
活動概要	<p>「金沢市立学校に係る文化部活動の方針」(令和元年6月策定)に基づきながら、合唱部や華道部等の文化部活動の充実を図るとともに、部活動指導員や外部指導者を活用した、平日・休日等における地域部活動に取り組むことを主軸とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 合唱部は、前年度、週2回の指導回数を、休日を含め週3回に拡充する。</li> <li>② 華道部は、前年度、現在 月1, 2回程度の指導回数を、部活動の日や合同展への出展等に向けた活動を充実させるため、休日の指導を含め月2回に拡充する。</li> <li>③ 生徒・保護者アンケートを年2回実施する。</li> <li>④ 夢空間、合同展等の外部での事業活動に対して積極的に外部指導者が引率する。</li> </ul>		

## ○本事業による成果

・地域部活動に参加した生徒の84%（7月）、94%（1月）が地域部活動に楽しく参加していると回答している。【図1】特に「丁寧に指導してもらっている」94%（7月、1月）、「技術が向上している」88%（7月、1月）、に見られるように前向きな項目による肯定的な意見の割合が大きかった。【図2】

地域部活動の良さとして、「専門的技術が学べる」「自分自身が上達できる」という項目をあげている生徒が多かった。また「機会が少ないからこそ、集中して学べる」「他の部にはない特別感がある」などの意見もあった。

さらに、「専門的な外部講師がいてくれると、うれしい」の項目については、88%（7月）から94%（1月）と6ポイント割合があがった。【図3】

一方、活動時間に関する「もっと活動時間が増えてほしい」については、「そうは思わない」と答えた割合が70%（7月）、74%（1月）となり、多くの生徒が適切な活動時間であると思っているようである。

・保護者は、地域部活動の良さとして、「専門性のある指導」78%（7月）、91%（1月）を最上位にあげており、後期にかけて13ポイントの上昇が見られた。また、「能力・個性の尊重」44%（7月）、41%（1月）や「人間関係の広がり」44%（7月）、56%（1月）の項目について、肯定的な意見を多くの保護者があげている。【図4】

・教員が回答したアンケートでは、地域部活動の良さとして、「専門性のある指導」「能力・個性の伸長」100%（7月、1月）があげられていた。また、十分な活動時間が確保できるという意見も多かった。今後への期待としては、「教員の負担軽減」「専門家の指導による活動の充実」等で、一方、不安としては「人材確保」「地域格差」の難しさがあげられている。

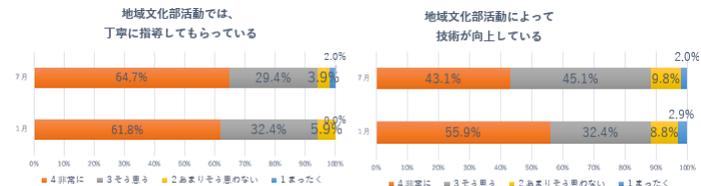
実際に勤務時間の負担軽減となっている状況は見られなかったが、指導、助言してくれる専門家がいるという精神的な支えによる効果は見られた。また、活動中においても、地域部活動の際には別の業務に充てることができるということ、専門的な指導者がいることでの安心感など利点は大きい。

・外部指導者によるアンケート結果では、地域部活動の良さとして、「人間関係の広がり」100%（7月、1月）をあげており、また「専門性のある指導」67%（7月）、100%（1月）があげられている。学校、地域の活動どちらにしても、「人間関係の広がり」に良さを考えており、今後への期待として、「退職教員の活用」「専門性と能力の向上」「教員の負担軽減」があげられていた。

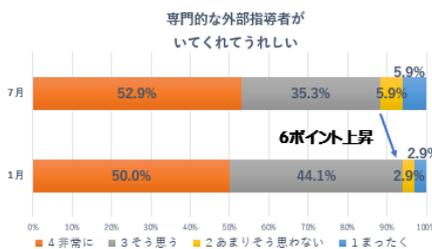
【図1・部員（子ども）によるアンケート結果より】



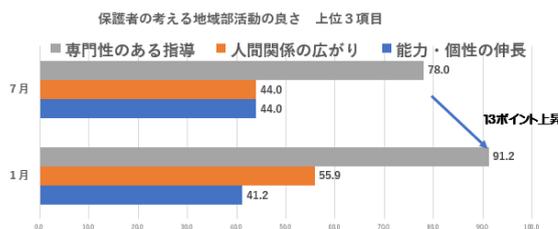
【図2・部員（子ども）によるアンケート結果より】



【図3・部員（子ども）によるアンケート結果より】



【図4・保護者によるアンケート結果より】



## ○児童・生徒への指導に関する工夫

・生徒への丁寧な説明会のあと、アンケートの実施をすることで、趣旨や活動について理解できている。

・子どもの特性や、個に応じた指導ができるよう顧問と外部講師との情報交換を密に行っている。

・活動にあたって、生徒の意見を聞き入れることができるよう、ミーティングや打ち合わせ、報告会などを細やかにしている。

・休日の練習には、保護者が積極的に関わられるよう、開かれた学校を周知し、公開する機会を設けている。

## ○運営上の工夫

・「金沢市立学校に係る文化部活動の方針」(令和元年6月策定)に基づき、平日2時間、休日3時間の活動時間を遵守し、生徒の休日も適宜に設定している。

・華道部の活動における休日の活動については、生徒に負担感がでないよう、参加者をその都度聞き、花材を用意したり、活動を調整したりしている。

・ICT活用を利用した連絡体制が、顧問、外部指導者の間において構築されている。

・華道作品や合唱の様子をICT端末により、写真や動画に撮影し、生徒間における互いの交流に役立てている。

・学校長、教頭等の管理職が、外部指導者や顧問のヒアリングを丁寧に行うことで情報交換や、状況、課題を把握している。

## ○継続的な運営に関する課題

### 〈教員の負担軽減〉

・活動場所を学校としているので、当該校を会場とする休日の地域部活動の際には、学校の開場、片付けのために顧問や学校の管理職が学校に来る必要がある。また、活動中の備品は基本的に学校部活動のものを併用しているため、その管理も顧問に任せることになり、顧問側の負担軽減になかなかつながらない。今後は、教員が学校に来なくてもよい地域部活動の仕組みを模索し、手当の支給なども検討していく必要がある。

・活動に対して、多くの生徒や多くの機会が増えると、学校部活動の目標と地域部活動の目標、また子どもたちの意思などがずれてかみあわない状況も見られるため、より細やかな連絡調整や、コーディネーター的な役割が必要である。

### 〈保護者の費用負担〉

・今年度は、国のモデル事業により、講師謝金の一部を賄えたが、今後も同様の活動を継続するためには、講師謝金について、保護者等の費用負担が必要である。必要最低限度の負担額を設定、提示するなど、理解を求めていく必要がある。さらに保護者の中には「外部指導者の人間性等の担保」「人材確保」「指導者への権力集中」「責任の所在」などが不安であるというアンケートでの回答も見られた。

### 〈地域への周知〉

・地域の文化活動の向上・発展のためには、現在の移行段階の状態について、地域に理解してもらう必要がある。地域における演奏会、華道作品の展示など地域貢献活動の拡大を検討していく。

## ○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画

・令和4年度に行われた事業により洗い出された課題の検証を行っていく。

### 〈教員の負担軽減〉

・地域部活動として、学校部活動顧問が学校開放やその開放に携わった場合、手当を支給する、もしくは兼職兼業として登録し、活動を行うか等、教員の負担が重くならないような方針を決め、検討していきたい。

・年間活動計画を年度の早めに制作し、学校部活動、地域部活動との一貫した活動に対する連携を強化していきたい。

### 〈保護者の費用負担〉

・年間に必要な経費を算出し、受益や負担額、活動に関わるスケジュールリング、趣旨を丁寧に説明していく。

### 〈地域への周知〉

・学校の広報活動を活用し、地域に活動を周知したり、地域に出向いていったりする活動を検討していく。

○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	合唱部 生徒20名 華道部 生徒38名（令和4年5月現在）
	募集方法	4月部活動説明会、見学、仮入部を経て、5月発足会にて部カードを提出し、登録となる。
指導者	人数等	合唱部・・・金沢市在住 地域人材講師(元教員)1名、ピアノ伴奏者1名 華道部・・・金沢市在住 地域人材講師2名 生け花講師1人、フラワーアレンジメント講師1人 学校部活動顧問数名
	募集方法	例年、4月までに、金沢市・学校が必要な部活動に関わる専門的な技能をもった外部指導者について、地域、職員、団体に声をかけ、地域人材を募集する。今回は、地域人材として、長年学校に貢献しており、継続を依頼する。
参加者の移動手段		特になし
活動費用	指導者謝金等	1時間1600円(部活動指導員と同額) 交通費は謝金に含む
	その他	花材など講師用は地域部活動経費として捻出
活動財源	会費	特になし 合唱部は、部員1人ずつ、月に1000円徴収(ホール代、スコア代、謝金等)
	その他	華道部は、活動日にその日の花材や教本等消耗品代を参加者、希望者のみ徴収(変動)
スケジュール	基本活動	合唱部 月に4回程度、 華道部 月に2回程度、地域部活動として活動を実施
	年間	11月夢空間 1月小中合同展 参加
保険加入等		スポーツ安全保険(活動中 指導者、個人 各800円 事業費で負担)

【活動の様子（写真添付）】



【合唱部 春・全体合唱の様子】



【合唱部 秋・他校との合同ステージ「夢空間」】



【合唱部 冬・パート練習の様子】



【春 個人練習の様子・学校展示作品】



【秋・冬 他校と合同展示「夢空間」「小中合同展」の様子と作品】